

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
 株式会社 ルネサス テクノロジ
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A153A/J	Rev.	第1版
題名	R8C/18 グループ, R8C/19 グループ, R8C/1A グループ, R8C/1B グループ, R8C/24 グループ, R8C/25 グループ フラッシュメモリのイレーズ機能に関する注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	R8C/18 グループ, R8C/19 グループ, R8C/1A グループ, R8C/1B グループ, R8C/24 グループ, R8C/25 グループ	対象ロット等	- -		
			関連資料		

1. 注意事項

EW1 モード (FMR11="1") において、書き込みデータが"D0h"であるプログラムコマンドを実行した後にブロックイレーズコマンドの第1バスサイクルである"20h"をブロックの任意番地へ書き込むと、CPU は最後に書き込んだデータ ("D0h") をブロックイレーズコマンドの第2バスサイクルと誤認識し、ホールド状態となり、命令実行ができなくなります (プログラム例1 参照)。

書き込みデータが"D0h"以外の場合は、本注意事項に該当いたしません。

2. 対策

下記のいずれかの対策を実施してください。

- (1) ブロックイレーズコマンド実行前にリードアレイコマンド ("FFh") を実行してください (プログラム例2 参照)。
- (2) EW0 モード (FMR11="0") を使用してください。

3. 今後の予定

2006年第4四半期の出荷分より、改善品の出荷を予定しております。

詳細に関しましては、営業部門にお問い合わせください。

改善品において、上記対策の処理を行っても問題ありません。

【プログラム例1】

```
; data が"D0h"の場合
; Program Command
mov.b    data, R0L
mov.b    #040h,2400h
mov.b    R0L,2400h
LABEL_001:
btst     FMR00
jnc      LABEL_001
; Block Erase Command
mov.b    #020h,2800h
mov.b    #0D0h,2800h
LABEL_002:
btst     FMR00
jnc      LABEL_002
```

【プログラム例2】

```
; data が"D0h"の場合
; Program Command
mov.b    data, R0L
mov.b    #040h,2400h
mov.b    R0L,2400h
LABEL_001:
btst     FMR00
jnc      LABEL_001
; Read Array Command
mov.b    #0FFh,2800h
; Block Erase Command
mov.b    #020h,2800h
mov.b    #0D0h,2800h
LABEL_002:
btst     FMR00
jnc      LABEL_002
```

以上